

準優勝・まちづくり委員長特別賞

有機的に繋がる町のコア

～エリアリノベーションでサステイナブルな江津本町を目指して～



島根 | 島根県立江津工業高等学校 選手…3年生3名[男子1名、女子2名]

地域活性化のために、建築によって、交流人口を増やそうと考えた案である。この案は、まさに「まちづくり」となった。小さなエリアでさまざまな人が参加している。一般市民を巻き込んだいろいろな方が参画し、連携してやっているのがまちづくりだが、この地域ではまちづくり協議会などの団体も参加している。高校生が本気のまちづくりに取り組んでいる姿勢(地域の作業風景など)にからだを動かして活動)もいい。だから、よい作品となっている。関係人口を増やしていかなければいけないという視点が既存まちづくり関係者と一致したことが、さまざまな人や団体と連携し、この案をリアルにしたと思える。まちづくりの基本である「こと・しくみ・ひと」を動かすという部分に未来がありそうだ。

調査などにより、建物の老朽化、看板、古民家の未利用放置状態など問題提起がしっかりされており、町もよくみている。地方の小さな町から本当にこれからどうするかを考えられている。もったいないのは、町には他にもよいものがあるのに、宿泊施設という一点にまとめたしまった。

ワークショップといったまちづくり手法を高校生という若いうちから身

に着けているのにも感心した。プレゼンとして、平面図に空間イメージができる写真を張り付けた技法も面白かった。(森崎)

